

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5301 日本文学序論1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	火曜2限				
教室	H403教室				
代表教員	稲葉 有祐				
担当教員	稲葉 有祐				
テーマと到達目標	古典の基礎的な知識と史的展開について学びます。日本の文学作品は、伝統を継承しつつも、時代に応じて絶えず変奏され、新たな生命を宿していきます。そのため、時代状況や文学史としてのダイナミズムを系統立てて捉えることが重要となります。本授業では、作品の背景や意義を理解し、影響関係や史的な流れを把握することを目指します。それぞれの作品にあたりながら、問題点の探し方や研究の方法を身につけていきましょう。				
概要	日本の古典文学を通史的に学びます。本授業は、古代の〈日本〉という国の枠組みを確認することから始まり、王朝文学と軍記物語、近世における継承と変奏を基幹として構成しています。文字の問題、美意識、文学論、物語の成長と造形、物語と芸能、座、メディア、復興運動、近代への接続といった側面に留意しながら、散文・韻文の作品を観賞・解説します。点から線へ、線から面へと、各作品がどのように有機的に連なり、文学史を形成していくのか。要点を押さえながら組み立てていきましょう。毎時の課題・コメントは授業内でフィードバックし、問題点を共有していきますので、積極的に参加してください。期末にはレポートを予定しています。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	文学史の可能性について				対面授業
第2回	倭建の東征 ～〈日本〉のかたち～				対面授業
第3回	『土佐日記』と平仮名				対面授業
第4回	王朝の美意識 (1) ～『枕草子』～				対面授業
第5回	王朝の美意識 (2) ～『源氏物語』～				対面授業
第6回	虚構か真実か ～『源氏物語』・『蜻蛉日記』の物語論～				対面授業
第7回	物語の成長 ～『堤中納言物語』へ～				対面授業
第8回	栄枯盛衰と語り ～『平家物語』～				対面授業
第9回	義経像の形成 ～『義経記』～				対面授業
第10回	世阿弥と「花」 ～『風姿花伝』と謡曲～				対面授業
第11回	座の文芸 (1) ～連歌の発生から『水無瀬三吟百韻』へ～				対面授業
第12回	座の文芸 (2) ～俳諧と啓蒙・出版メディア～				対面授業
第13回	芭蕉、「古人」を追う ～旅と紀行文の問題～				対面授業
第14回	原点へ帰れ ～徂徠・真淵・宣長・蕪村と復興運動の生んだもの～				対面授業
第15回	文豪の読んだ古典 ～まとめをかねて～				対面授業
成績評価の基準	授業時に指示する課題 (50%) 期末レポート (50%)				
履修にあたっての留意事項	2023年度の日本文学序論2 (担当・稲葉) を未受講の学生を対象とします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限 (抽選) 授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	プリントを配布します。受講にあたっては配付資料をよく読み、問題点を整理しておいでください（予習復習・60分）。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業時に適宜指示します。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--